

兵庫県下の経済動向

平成29年1月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

【概 況】

最近の県内景気は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかに回復している。

個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、底堅く推移している。
また、設備投資は増加し、住宅投資は横ばい圏内で推移している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が11か月連続して前年実績を下回った。

乗用車販売は、2か月連続して前年実績を上回った。

家電販売は、緩やかに持ち直しつつある。

設備投資は、28年度は増加となる見込み。

住宅投資は、全体で3か月ぶりに前年を下回った。

公共工事請負金額は、神戸市で2桁増となるも、その他の団体、独立行政法人等、兵庫県で大幅減、国で減少、神戸市を除く市町で前年並となった。

貿易は、輸出は、EU、米国向けが減少したため10か月連続して前年を下回った。
輸入は、アジア、中国が減少したため15か月連続して前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、2か月連続で前年を下回った。

雇用関係では、新規求人数、有効求人倍率ともに前年を上回った。

また、常用労働者数は前年を上回ったが、一人当たり名目賃金および所定外労働時間は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を下回ったが、負債金額は前年を上回った。

兵庫C I 及び兵庫D I から見た県内の景気動向

10月の兵庫C Iは、先行指数93.8、一致指数105.8、遅行指数101.8となった。

10月の兵庫D Iは、先行指数71.4%、一致指数62.5%、遅行指数25.0%となった。

兵庫C Iは、先行指数は3か月ぶりに前月差減、一致指数は2か月ぶりに前月差減、遅行指数はかわらなかった。

一方、兵庫D Iは、先行指数が6か月連続で50%を上回った。

県統計課は基調判断を「兵庫C I一致指数は、悪化を示している。」としている。

<p>*兵庫D I と兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫D I)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫C I)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。</p>

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

11月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は96.1、前月比0.9%減。出荷指数は100.5、同5.8%増。在庫指数は105.0、同4.8%減。在庫率は111.9、同1.8%減。生産指数は2か月連続で減少、出荷指数は2か月ぶりに増加、在庫指数は3か月連続で減少した。

前年同月比(原指数)では、生産は前年同月比3.2%減で2か月連続で減少、出荷は同2.0%増で2か月ぶりに増加、在庫は同4.2%減で10か月ぶりに減少した。

主要業種の生産動向を対前月比でみると、「電気機械工業」(非標準油入り変圧器(10000kVA以上)等)が8.2%、「金属製品工業」(超硬チップ等)が3.2%、「情報通信機械工業」(カーナビゲーション等)が3.1%、「化学工業」(自動車排気ガス浄化用触媒等)が1.7%、「食料品工業」(ビール類等)が1.0%各々増加し、「はん用・生産用・業務用機械工業」(蒸気タービン部品等)が0.1%、「窯業・土石製品工業」(ほうろう鉄器製品等)が2.8%、「輸送機械工業」(旅客車等)が6.3%、「鉄鋼業」(亜鉛めっき鋼板等)が8.0%各々下落した。

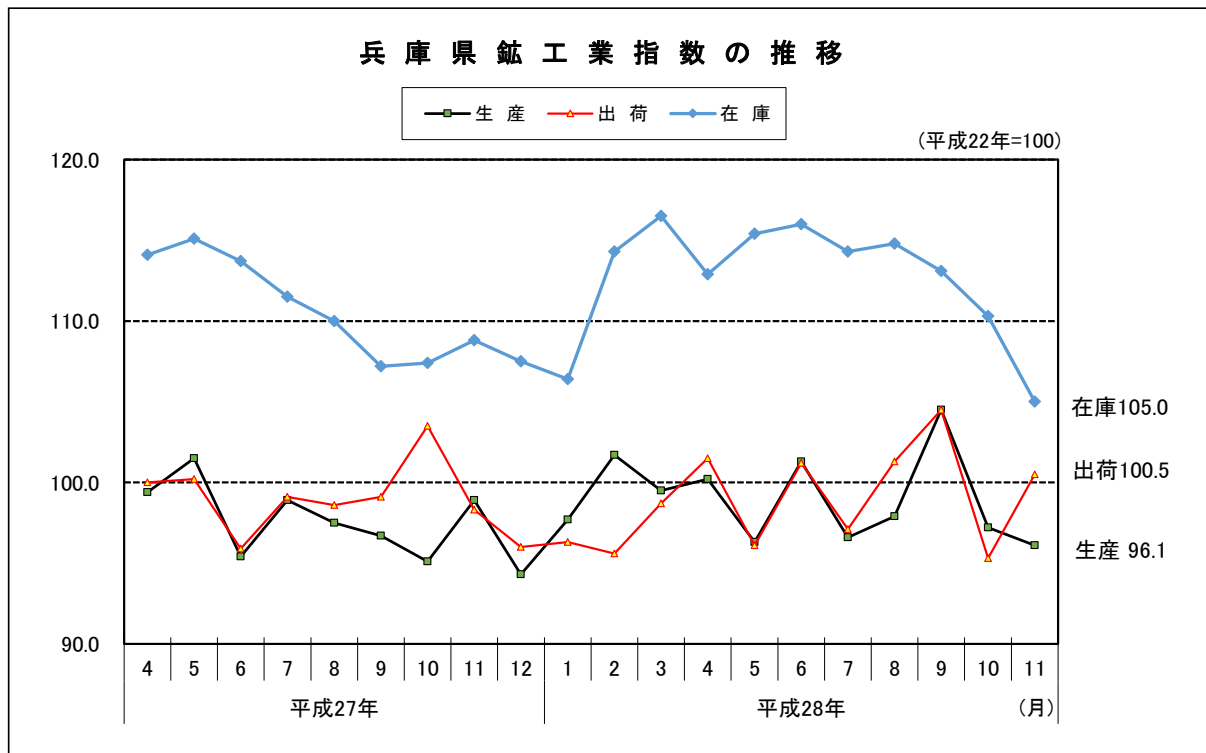
県統計課は、基調判断を「緩やかな持ち直しの動きがみられる。」とした。

11月の兵庫県鉱工業指数

(速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
			原 指 数	対前年同月 比増減 (%)
生 産	96.1	▲ 0.9	96.5	▲ 3.2
出 荷	100.5	5.8	100.0	2.0
在 庫	105.0	▲ 4.8	106.7	▲ 4.2
在 庫 率	111.9	▲ 1.8	109.7	▲ 2.1

資料：兵庫県企画県民部統計課



11月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼業	87.2	▲ 8.0	上昇	鍛鋼品、フェロアロイ、普通鋼鋼管、PC鋼線
			低下	亜鉛めっき鋼板、普通鋼冷延広幅帯鋼、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)、普通鋼鋼帯
金属製品 工業	84.2	3.2	上昇	超硬チップ、ねじり棒ばね、ガス風呂がま、ガス温風暖房機
			低下	作業工具、橋りょう、スチール・ステンレスシャッター、機械刃物
はん用・生産 用・業務用 機械工業	80.8	▲ 0.1	上昇	混合機・かきはん機・粉碎機、圧縮機、建設用クレーン、一般用蒸気タービン
			低下	蒸気タービン部品、ボイラ部品、機械式駐車装置、反作用機器
電気機械 工業	145.1	8.2	上昇	非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、開閉制御装置、クッキングヒーター、電気がま
			低下	電力変換装置、リチウムイオン蓄電池、一般用タービン発電機、保護継電器
情報通信 機械工業	120.1	3.1	上昇	カーナビゲーション、携帯電話、固定通信装置、カーオーディオ
			低下	ノート型パソコン、無線位置測定装置、レーダ装置、入出力装置
輸送機械 工業	103.4	▲ 6.3	上昇	船用ディーゼル機関、発動機部品、内燃機関電装品、二輪自動車(125ml超)
			低下	旅客車、特装ボデー、機体部品
窯業・土石 製品工業	102.3	▲ 2.8	上昇	ファインセラミック(構造材)、セメント、空洞コンクリートブロック、プレストレストコンクリート製品
			低下	ほうろう鉄器製品、ガラス製容器類、タイル、不定形耐火物
化学工業	105.7	1.7	上昇	自動車排気ガス浄化用触媒、水系合成樹脂塗料、医薬品、脂肪酸
			低下	二塩化エチレン、複合肥料(化成肥料)、塩化ビニル(モノマー)、か性ソーダ
食料品工業	95.5	1.0	上昇	ビール類、配合飼料、精米、塩
			低下	清酒、肉製品、めん類、しょうゆ

資料：兵庫県企画県民部統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた12月の県内百貨店売上高は、前年同月比1.6%減の229億5,847万円で、5か月連続で前年実績を下回った。食料品の2.3%減が響いた。

神戸地区は1.4%減、姫路・加古川地区は2.2%減だった。

2016年の兵庫県内の百貨店売上高は1,879億5,064万円と、前年比3.5%減少し、2013年から4年連続減少。また、7月を除く全月で前年実績を下回った。売上高の4割近くを占める衣料品が全体を押し下げたほか、靴やかばんなど身の回り品の6.5%減少も響いた。

一方、売上高の3割を占める食料品は1%増加、化粧品は3.9%増加、美術・宝石・貴金属は1.7%増加した。

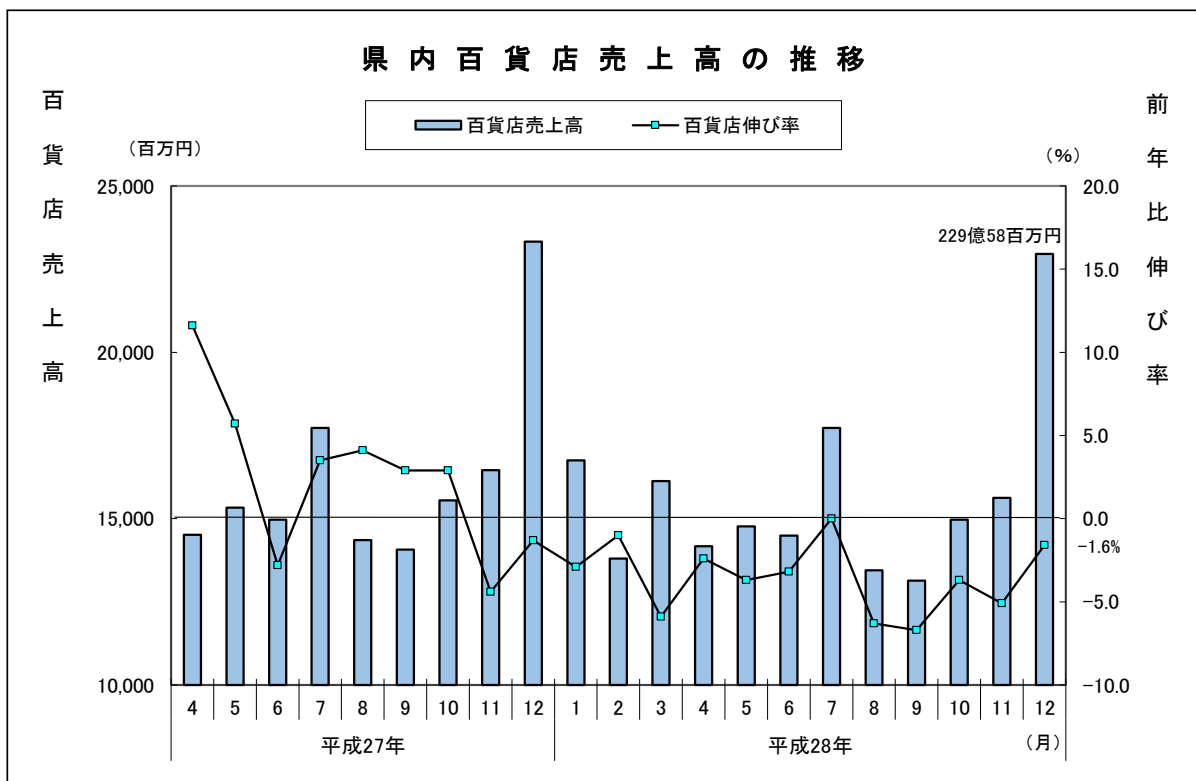
12月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路・加古川	合計
紳士服・洋品	930(▲ 3.0)	246(3.5)	1,177(▲ 1.7)
婦人服・洋品	5,193(1.9)	556(▲ 8.4)	5,749(0.8)
子供服・洋品	379(▲ 0.9)	99(▲ 7.8)	478(▲ 2.4)
身の回り品	1,580(▲ 2.5)	292(7.5)	1,873(▲ 1.1)
雑貨	2,981(▲ 2.1)	476(0.8)	3,458(▲ 1.7)
家庭用品	640(▲ 9.0)	181(3.1)	821(▲ 6.5)
食料品	6,758(▲ 2.1)	1,613(▲ 2.9)	8,372(▲ 2.3)
その他	710(▲ 4.1)	316(▲ 5.0)	1,027(▲ 4.4)
計	19,175(▲ 1.4)	3,782(▲ 2.2)	22,958(▲ 1.6)

※ 単位百万円、百万円未満切捨て。()内は、前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内12月の乗用車新車登録台数は13,667台、前年同月比12.7%増と3か月連続して前年同月の実績を上回った。

12月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は5,251台(前年同月比10.0%増)、小型乗用車は4,379台(同26.3%増)、軽乗用車は4,037台(同3.8%増)、乗用車合計で13,667台(同12.7%増)となった。

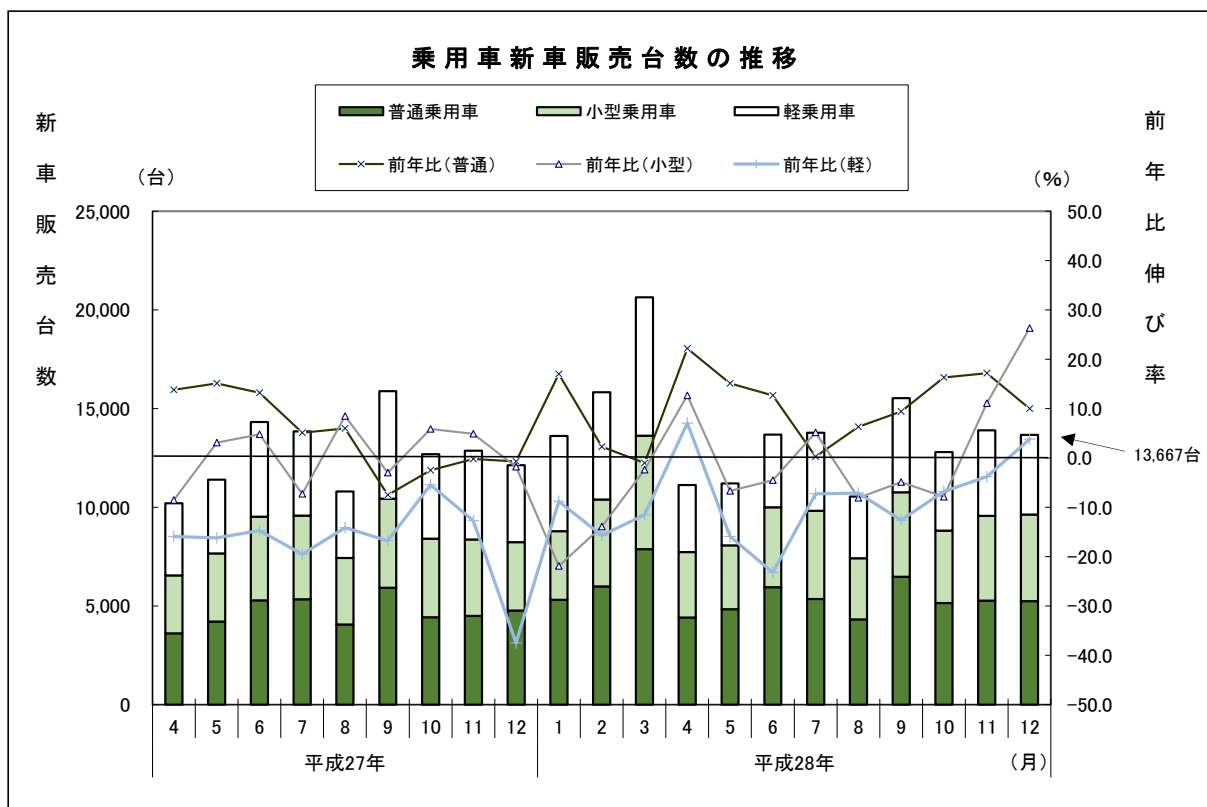
また貨物車等では、普通貨物車は436台(前年同月比25.3%増)、小型貨物車は655台(同0.3%増)、軽貨物車は964台(同7.6%増)、バスは48台(同9.4%減)となった。

12月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,251	10.0	115,881	3.9
小型乗用車	4,379	26.3	111,885	20.6
軽乗用車	4,037	3.8	105,056	1.5
乗用車合計	13,667	12.7	332,822	8.1
普通貨物車	436	25.3	15,908	10.7
小型貨物車	655	0.3	19,940	3.5
軽貨物車	964	7.6	27,538	2.6
貨物車合計	2,055	8.3	63,386	4.8
バス	48	▲9.4	1,324	18.6
登録車総計	15,770	12.0	397,532	7.6

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が1月16日に発表した機械受注統計によると、平成28年11月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、平成28年10月前月比3.3%増の後、11月は同20.6%増の2兆5,915億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、10月前月比4.1%増の後、11月は同5.1%減の8,337億円となった。

内訳をみると、製造業は同9.8%増の3,635億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同9.4%減の4,834億円であった。

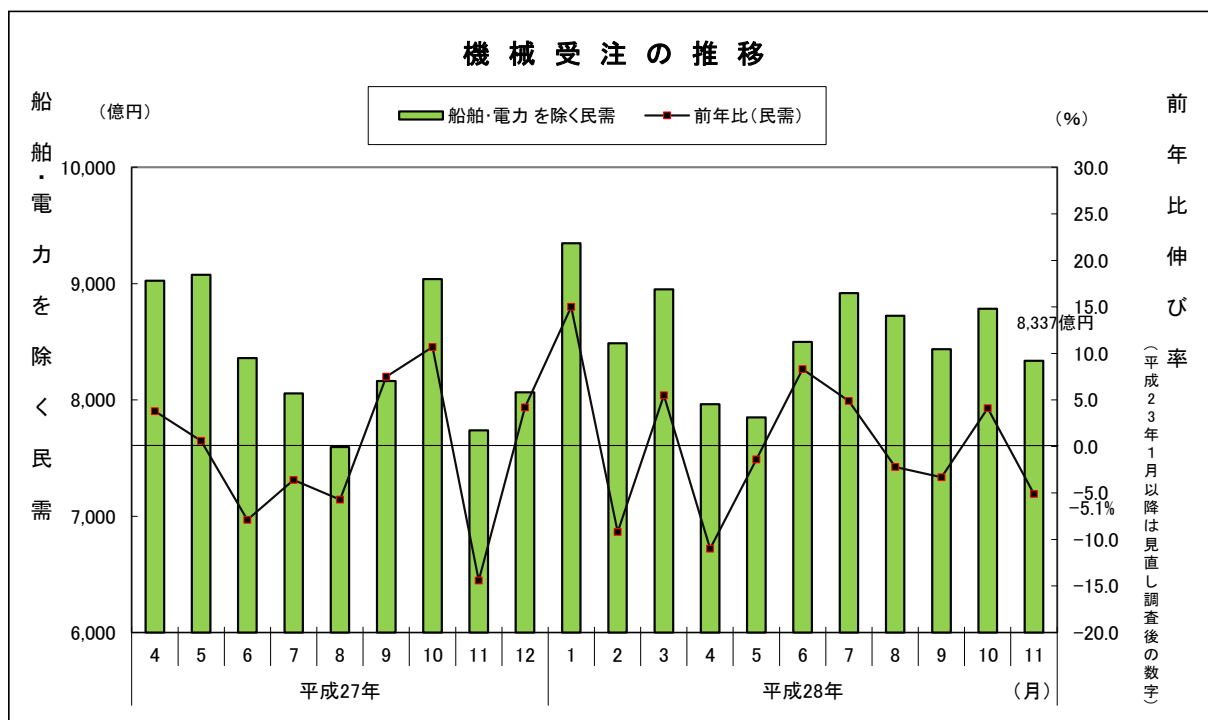
製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、非鉄金属(339.0%増)、パルプ・紙・紙加工品(76.7%増)、電気機械(68.0%増)、窯業・土石製品(53.7%増)、繊維工業(46.6%増)、食品製造業(33.7%増)、造船業(18.2%増)、「その他製造業」(9.9%増)、はん用・生産用機械(5.1%増)等の9業種で、業務用機械(0.8%減)、自動車・同付属品(2.4%減)、鉄鋼業(4.5%減)、その他輸送用機械(13.5%減)、情報通信機械(24.9%減)、化学工業(33.3%減)、金属製品(41.8%減)、石油製品・石炭製品(55.8%減)等の8業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、電力業(164.7%増)、金融業・保険業(47.4%増)、建設業(10.5%増)、通信業(4.4%増)等の4業種で、不動産業(1.1%減)、鉱業・採石業・砂利採取業(1.3%減)、情報サービス業(10.3%減)、農林漁業(11.2%減)、リース業(11.8%減)、運輸業・郵便業(12.5%減)、卸売業・小売業(16.0%減)、「その他非製造業」(16.1%減)等の8業種は減少となった。

兵庫県下においては、2016年度設備投資額は、非製造業が減少計画の一方、製造業が増加計画であることから、全産業では増加計画。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2016年12月 ——兵庫県——

設備投資計画：全産業前年度比-7.7% (製造業-6.6%、非製造業-12.3%)



機械受注統計 (平成28年11月分)

	2015年 10～12月 実績	2016年 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 見通し	2016年 8月 実績	9月 実績	10月 実績	11月 実績
受注総額	72,164 (4.6) [8.1]	69,021 (-4.4) [-2.5]	64,834 (-6.1) [-9.6]	62,916 (-3.0) [-9.0]	62,118 (-1.3) [-10.4]	20,619 (-4.0) [-4.0]	20,808 (0.9) [-9.3]	21,486 (3.3) [-21.1]	25,915 (20.6) [16.0]
民 需	30,832 (6.3) [6.6]	34,667 (12.4) [4.5]	28,742 (-17.1) [-6.1]	29,347 (2.1) [0.9]	29,445 (0.3) [0.8]	9,721 (-0.7) [0.9]	9,954 (6.9) [-3.2]	9,842 (1.2) [-15.8]	10,963 (11.4) [16.7]
” (Ex 船・電)	25,098 (2.6) [2.1]	26,785 (6.7) [3.4]	24,312 (-9.2) [-6.5]	26,080 (7.3) [6.5]	24,539 (-5.9) [3.7]	8,437 (-3.3) [4.3]	8,498 (8.3) [-0.9]	8,783 (4.1) [-5.6]	8,337 (-5.1) [10.4]
製造業	10,266 (-3.0) [-3.1]	11,677 (13.7) [4.3]	10,110 (-13.4) [-12.9]	10,563 (4.5) [-0.5]	10,162 (-3.8) [1.5]	3,666 (17.7) [-3.8]	3,677 (0.3) [-1.4]	3,310 (-1.4) [-9.0]	3,635 (9.8) [8.3]
非製造業 (Ex 船・電)	14,565 (5.6) [6.3]	15,071 (3.5) [2.6]	14,325 (-5.0) [-1.0]	15,503 (8.2) [11.8]	14,541 (-6.2) [4.8]	4,838 (2.1) [1.8]	5,251 (8.6) [11.3]	5,336 (4.6) [-3.9]	4,834 (-9.4) [11.6]
官 公 需	6,563 (-11.1) [-18.4]	7,876 (20.0) [18.6]	6,830 (-13.3) [-14.6]	7,585 (11.0) [-6.4]	6,321 (-16.7) [11.7]	2,206 (-10.3) [-25.2]	2,393 (12.3) [-8.4]	2,724 (23.5) [31.2]	3,313 (21.6) [58.3]
外 需	31,946 (9.1) [17.0]	23,439 (-26.6) [-18.8]	24,305 (3.7) [-13.6]	22,836 (-6.0) [-21.7]	23,426 (2.6) [-26.2]	7,850 (1.4) [-16.7]	8,205 (10.8) [-16.8]	7,998 (1.9) [-35.3]	10,983 (37.3) [9.7]
代 理 店	3,349 (3.4) [7.2]	3,559 (6.3) [17.3]	3,255 (-8.5) [6.3]	3,552 (9.1) [10.1]	3,269 (-8.0) [-1.3]	1,214 (5.6) [7.6]	1,143 (12.5) [6.9]	1,111 (-8.4) [-0.7]	1,196 (7.6) [5.7]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内11月の新設住宅着工総数は3,004戸(前年同月比3.6%増)となり前年を上回り、前月比では194戸の増加となった。

また、利用関係別では「持家」が955戸(前年同月比0.0%)、「貸家」が1,247戸(同0.1%減)、「分譲住宅」が786戸(同17.4%減)となった。

11月の新設住宅着工戸数 (速報、単位：戸、%)

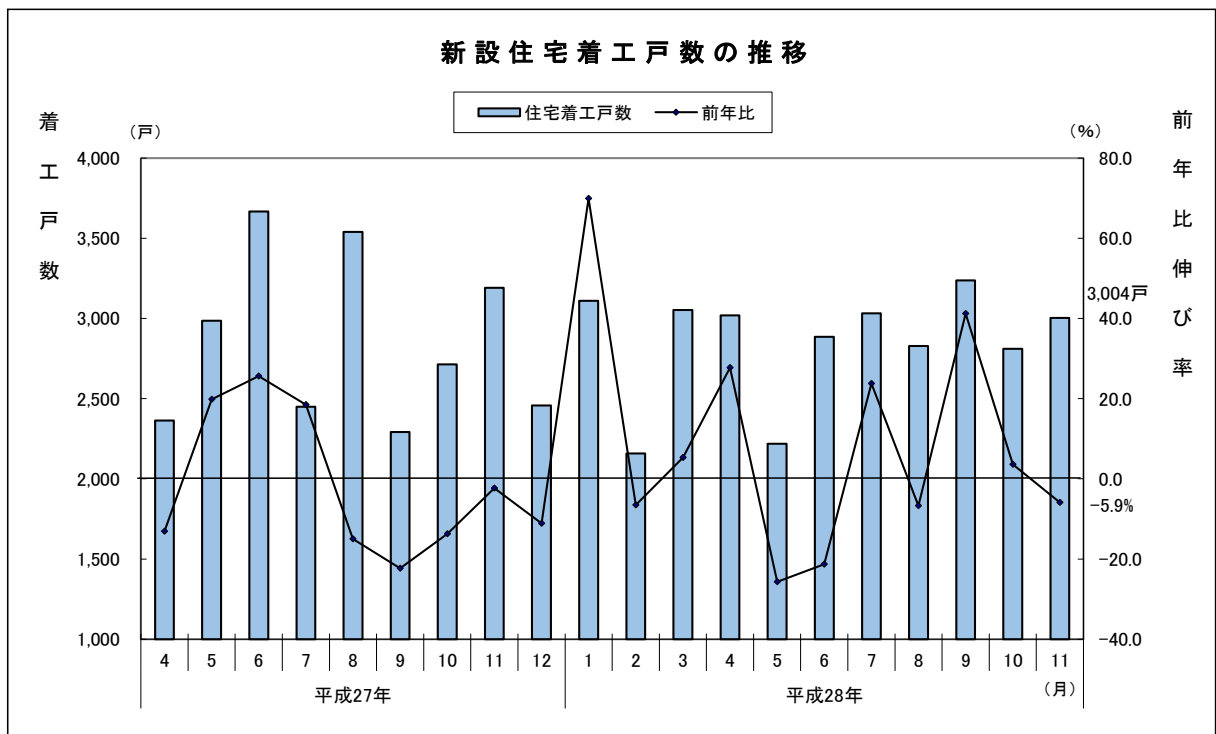
	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	955	0.0	25,993	2.7
・分譲住宅	786	▲17.4	20,127	▲1.8
貸家系・貸家	1,247	▲0.1	38,617	15.3
・給与住宅	16	▲56.8	314	▲17.2
総数	3,004	▲5.9	85,051	6.7

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

11月の地域別着工戸数 (戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	602	546	442	429	155	563	63	74	48	82	3,004
前月比	-20.2	7.1	26.6	2.1	11.5	37.0	-3.1	-14.0	-4.0	215.4	6.9

資料：兵庫県住宅政策課



【公共工事】

12月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は424件で前年同月比20.7%の減少、請負金額は198億81百万円で前年同月比32.2%の減少となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「独立行政法人等」前年同月比45.5%の増加となったが、「神戸市」同12.9%、「神戸市を除く市町」同16.7%、「兵庫県」同33.1%、「国」同33.3%、「その他の団体」同33.3%の減少となったため、前年同月比20.7%の減少となった。

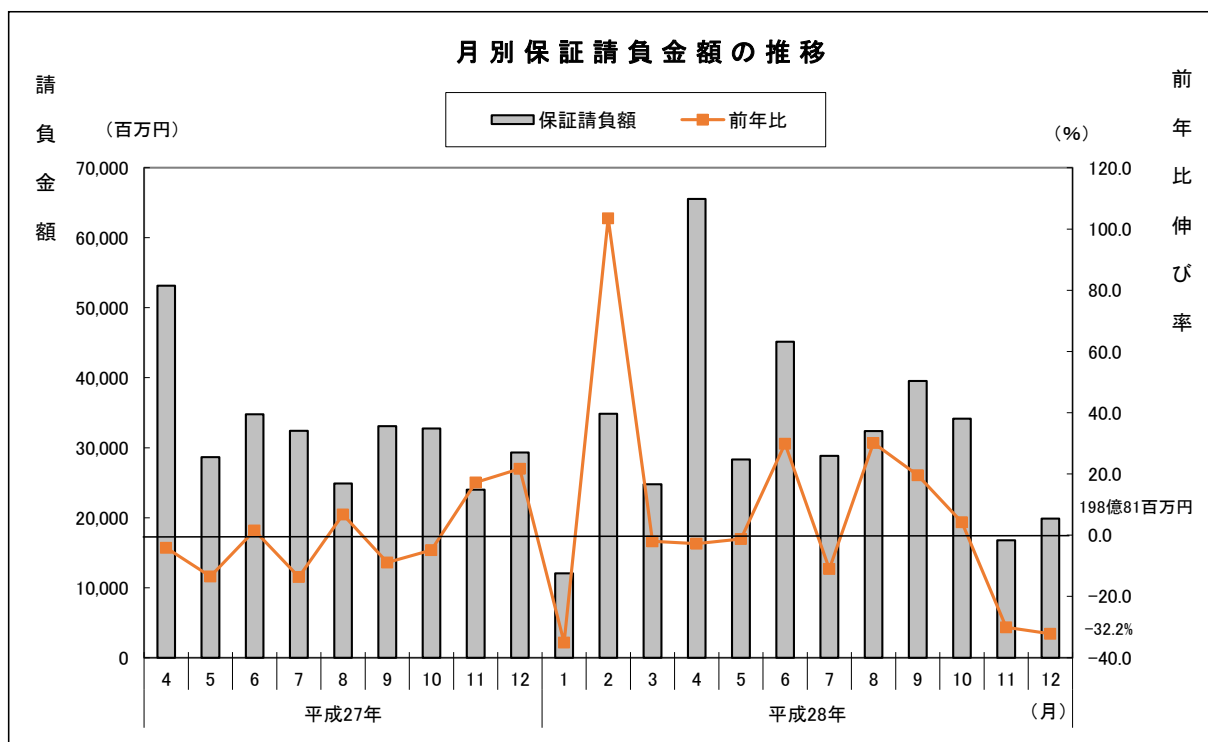
地域別(金額ベース)では、北播磨(前年同月比21.1%増)、西播磨(同14.0%増)、丹波(同10.7%増)が増加したが、但馬(同1.2%減)、東播磨(同13.3%減)、中播磨(同24.0%減)、阪神南(同41.5%減)、神戸市(同41.6%減)、阪神北(同54.2%減)、淡路(同79.9%減)が減少したため、前年同月比32.2%の減少となった。

12月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	8(▲33.3)	1,392(▲8.7)	日高豊岡南道路水上トンネル工事
独立行政法人等	16(▲45.5)	1,229(▲62.4)	
兵庫県	101(▲33.1)	4,504(▲35.3)	県住第19号県営伊丹野間住宅第3期建築工事 他1件
神戸市	74(▲12.9)	4,629(▲15.3)	28A2-043(仮称)東部療育センター新築工事
神戸市を除く市町	205(▲16.7)	7,329(▲0.7)	姫路市営中河原住宅(第2期)高層建替(建築)工事 他3件
その他の団体	20(▲33.3)	797(▲87.1)	
合計	424(▲20.7)	19,881(▲32.2)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成 28 年 12 月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は 7,420 億円、前年同月比 2.1%の減少で、総額ベースで 15 か月連続して減少となった。輸出は半導体等製造装置などが増加したものの、科学光学機器、二輪自動車類などが減少した。一方、輸入は無機化合物などが増加したものの、半導体等電子部品、科学光学機器などが減少した。

輸出は 4,926 億円(前年同月比 1.3%減)と 10 か月連続して減少した。

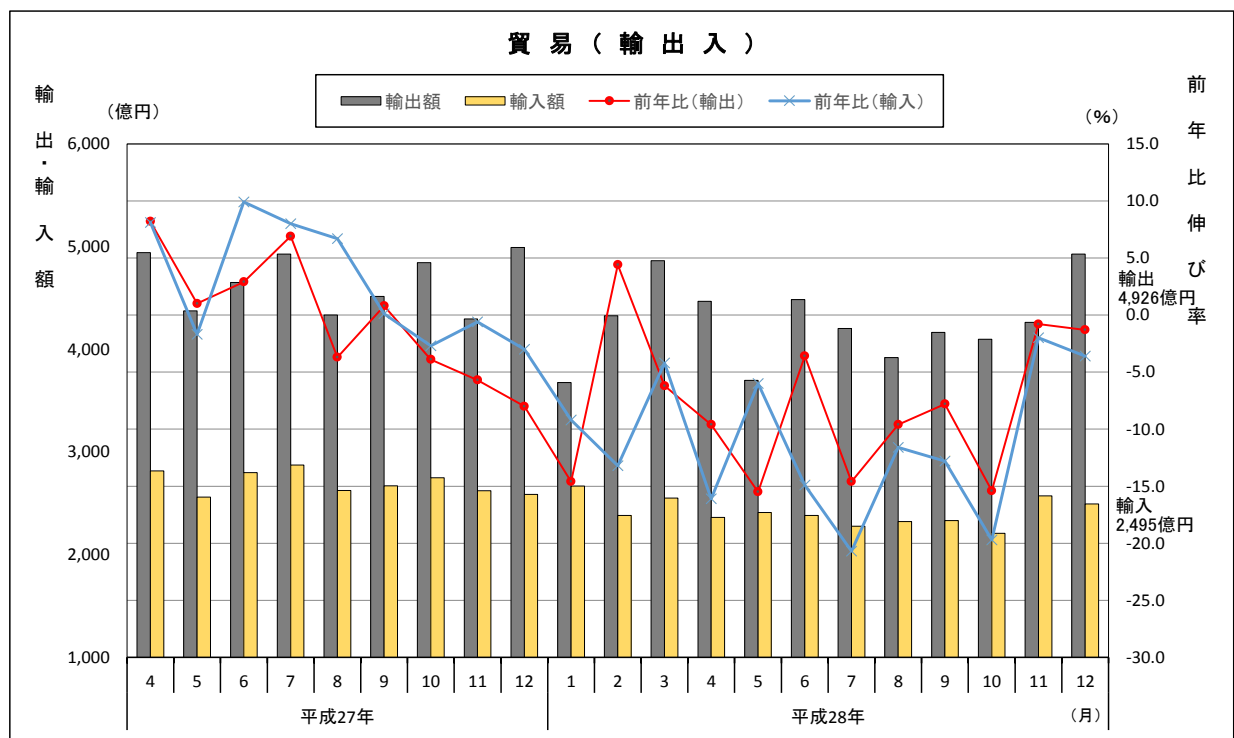
主要品目では、プラスチック(前年同月比 7.2%増、2 か月連続プラス)が増加したものの、織物用糸及び繊維製品(同 4.8%減、10 か月連続マイナス)、建設用・鉱山用機械(同 4.9%減、5 か月ぶりにマイナス)、原動機(同 8.6%減、2 か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、アジア(中国含む)(前年同月比 4.9%増、2 か月連続プラス)、中国(同 4.1%増、10 か月ぶりにプラス)が増加したものの、EU(同 2.7%減、6 か月連続マイナス)、米国(同 15.8%減、6 か月連続マイナス)が減少した。

輸入は 2,495 億円(前年同月比 3.6%減)と 15 か月連続して減少した。

主要品目では、非鉄金属(前年同月比 13.3%増、2 か月連続プラス)、有機化合物(同 8.2%増、3 か月ぶりにプラス)が増加したものの、衣類及び同付属品(同 0.2%減、7 か月連続マイナス)、たばこ(同 2.5%減、2 か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比 26.4%増、2 か月連続プラス)、EU(同 5.4%増、2 か月連続プラス)、中国(同 9.9%減、9 か月連続マイナス)、アジア(中国を含む)(同 11.0%減、9 か月連続マイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

12月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.4(2015年=100)となり、前月比0.2%の減少、前年同月比0.2%の増加となった。生鮮食品を除く総合指数は100.3となり、前月比0.2%の増加、前年同月比0.3%の減少となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は100.9となり、前月比0.1%の増加、前年同月比0.4%の増加となった。

前月からの動きを見ると、家庭用耐久財などの増加により、「家具・家事用品」が1.8%、自動車等関係費などの増加により「交通・通信」が0.4%、ガス代などの増加により「光熱・水道」が0.3%増加した。

しかし、野菜・海藻などの減少により「食料」が0.1%、教養娯楽サービスなどの減少により「教養娯楽」が0.3%、医薬品・健康保持用摂取品の減少により「保健医療」が0.2%減少した結果、総合指数では0.2%の減少となった。

12月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	100.4	101.5	100.9	90.7	100.7	104.2	100.6	98.6	101.3	101.3	101.5	100.3	100.9
前月比	▲0.2	▲1.0	0.0	0.3	1.8	0.0	▲0.2	0.4	0.0	▲0.3	0.0	0.2	0.1
前年同月比	0.2	1.1	0.9	▲6.8	0.8	▲0.8	0.7	▲0.9	1.1	0.6	0.4	▲0.3	0.4

(注)2015年=100

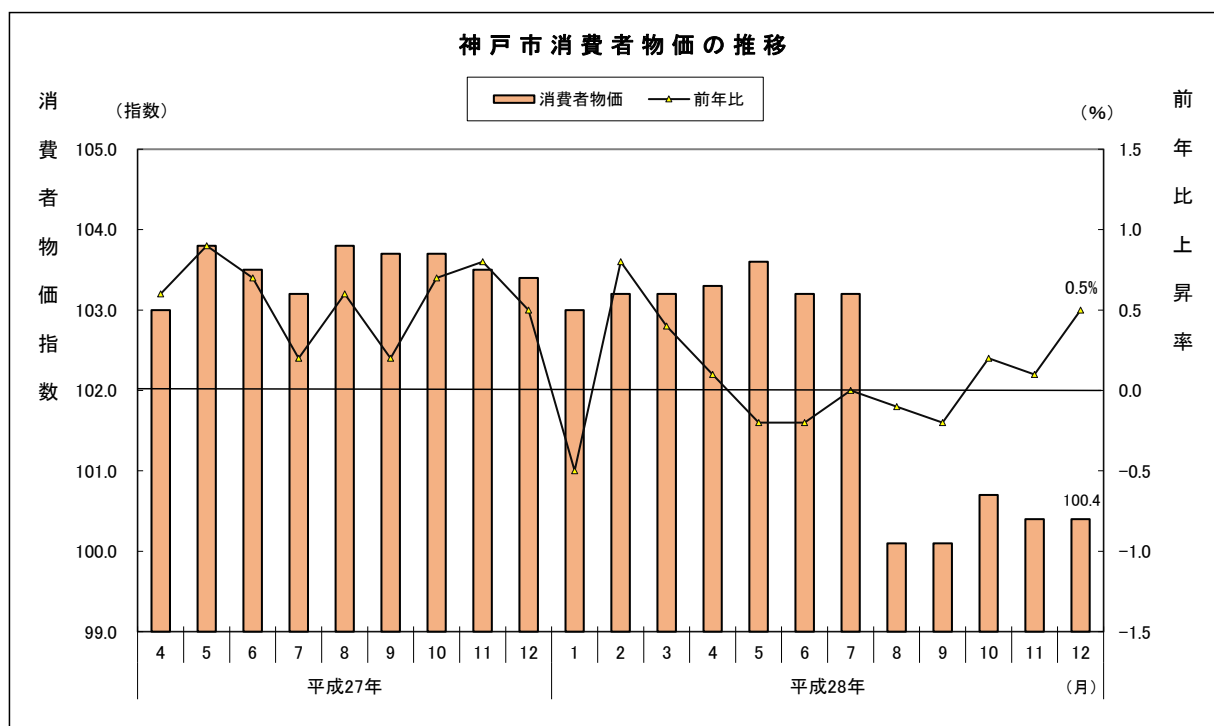
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

- 家庭用耐久財 (+ 9.1%)・・・電気冷蔵庫、電気掃除機
- 自動車等関係費 (+ 0.7%)・・・カーナビゲーション、ガソリン

○対前月比値下がりした主な品目

- 野菜・海藻 (▲11.2%)・・・キャベツ、トマト
- 教養娯楽サービス (▲ 0.3%)・・・宿泊料、ゴルフプレー料金



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が1月16日に発表した、企業物価指数(速報)による2016年12月の企業物価指数は次のとおり。

12月の企業物価指数 (速報、2010年=100)

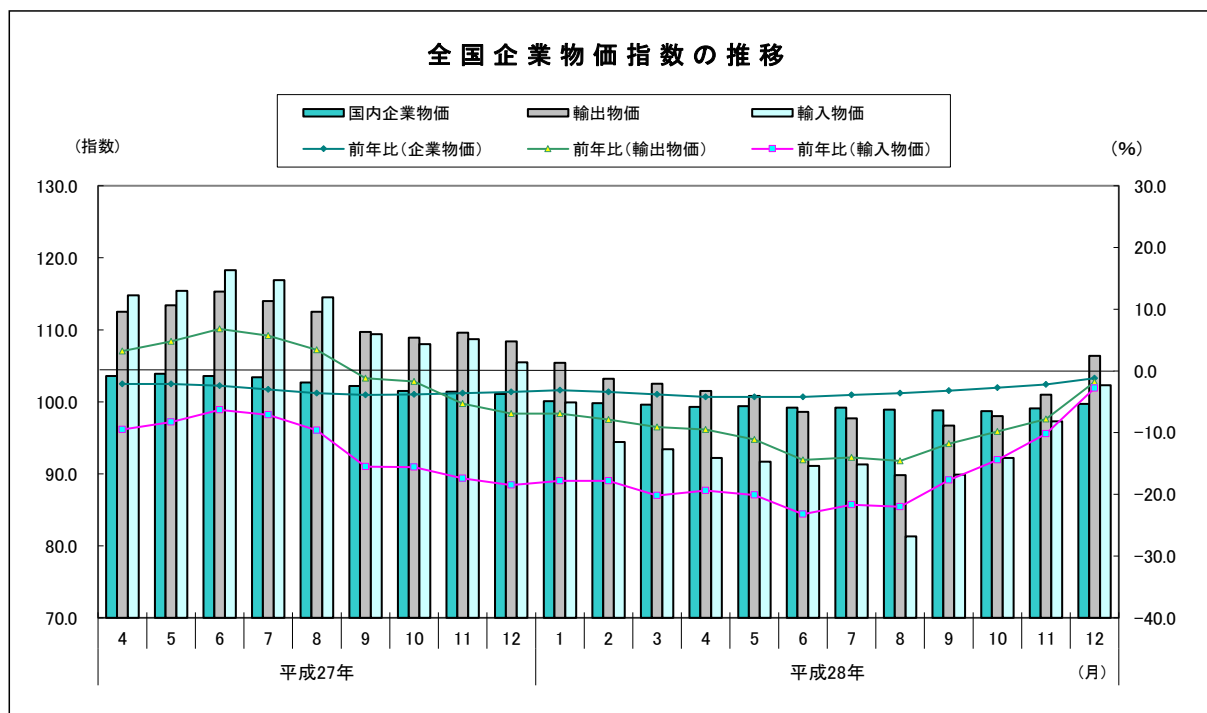
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	99.7	0.6	▲ 1.2
輸 出 物 価	106.4	5.3	▲ 1.8
輸 入 物 価	102.3	4.9	▲ 2.8

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、スクラップ類(前月比9.4%増<鉄くずなど>)、石油・石炭製品(同5.3%増<ガソリンなど>)、非鉄金属(同5.0%増<銅地金など>)、農林水産物(同1.0%増<鶏卵など>)、鉄鋼(同0.9%増<小形棒鋼など>)、化学製品(同0.8%増<ベンゼンなど>)、電力・都市ガス・水道(同0.5%増<大口都市ガスなど>)等が増加し、円ベースでは前月比0.6%の増加(前年同月比1.2%減少)となった。

輸出物価は、金属・同製品(前月比9.1%増<銅地金など>)、化学製品(同7.6%増<スチレンモノマーなど>)、その他産品・製品(同6.1%増<C重油など>)、電気・電子機器(同5.2%増<モス型集積回路(除モス型メモリ集積回路)など>)、輸送用機器(同4.9%増<懸架・制動装置部品など>)、はん用・生産用・業務用機器(同2.6%増<半導体製造装置など>)等が増加し、円ベースでは前月比5.3%の増加(前年同月比1.8%減少)となった。

輸入物価は、金属・同製品(前月比9.5%増<銅鉱など>)、その他産品・製品(同6.0%増<天然ゴムなど>)、電気・電子機器(同5.7%増<モス型ロジック集積回路など>)、食料品・飼料(同4.5%増<コーヒー豆など>)、石油・石炭・天然ガス(同3.7%増<原油など>)、化学製品(同3.3%増<酸化チタンなど>)が増加し、円ベースでは前月比4.9%の増加(前年同月比2.8%の減少)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内11月の新規求人数(全数)は、31,741人(前年同月比9.6%増)で、14か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は93,557人(同7.5%増)で79か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比10.6%増で2か月ぶりに前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同8.4%増で11か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同11.7%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比5.0%増)、製造業(同7.8%増)、宿泊業、飲食サービス業(7.0%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同16.7%増)、医療、福祉(同14.5%増)、サービス業(同22.2%増)で前年度を上回ったが、運輸業、郵便業(同2.0%減)、卸売、小売業(同0.7%減)、学術研究、専門術サービス業(同14.8%減)で前年を下回った。

(2) 求職状況

11月の新規求職申込件数(全数)は15,379件(前年同月比1.1%減)で3か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、74,990人(同6.0%減)で78か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比3.6%減で3か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同4.3%増で2か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比7.4%増で2か月連続して前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比0.1%減で3か月連続して前年を下回り、事業主都合離職者は同15.9%減で11か月連続、自己都合離職者は同1.4%減で12か月連続、自営・他は同19.7%減で3か月連続して前年を下回り、無業者は同2.7%減で59か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、18,863人(前年同月比7.8%減)で46か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

11月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.78倍(前月比0.08ポイント減)で前月を下回り、有効求人倍率については1.18倍(前月比0.01ポイント増)で前月を上回った。

(4) 失業者の状況

11月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.1%、完全失業者数(原数値)は197万人(前年同月比12万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は3.0%(前年同月比0.4ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は31万人(前年同月比4万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
28年11月	31,741	2,030	3,444	250	1,399	4,213	110	628	628	2,987	1,223	9,093	4,314
前年同月比	9.6	5.0	7.8	▲9.7	▲2.0	▲0.7	▲36.8	14.4	▲14.8	7.0	16.7	14.5	22.2

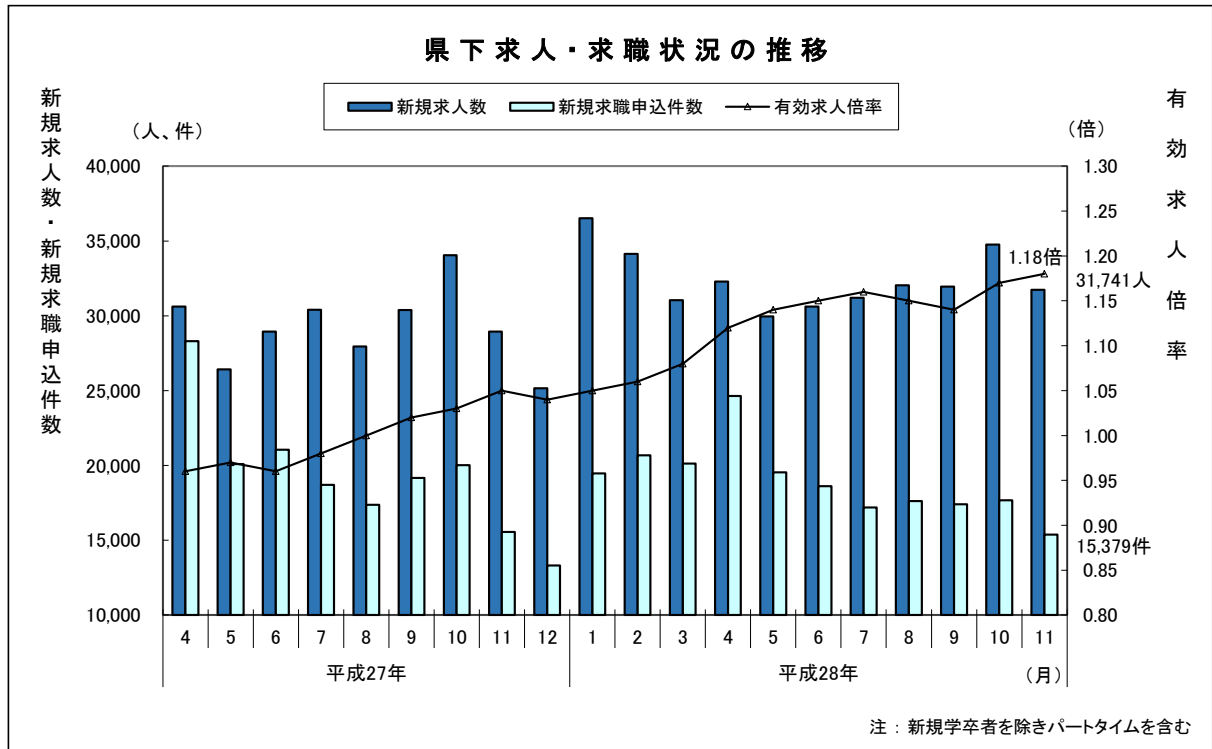
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	15/7-9	15/10-12	16/1-3	16/4-6	16/7-9	16/10	16/11
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	1.00	1.03	1.06	1.13	1.15	1.17	1.18
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	2.8	5.4	5.9	8.2	7.5	2.1	9.6
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	2.8	1.6	▲4.5	▲6.8	▲9.1	▲11.5	0.0
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.7	0.8	0.9	0.7	0.9	0.4	0.8
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	1.7	▲0.2	0.6	0.3	0.1	▲0.3	1.3

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



【信用保証】

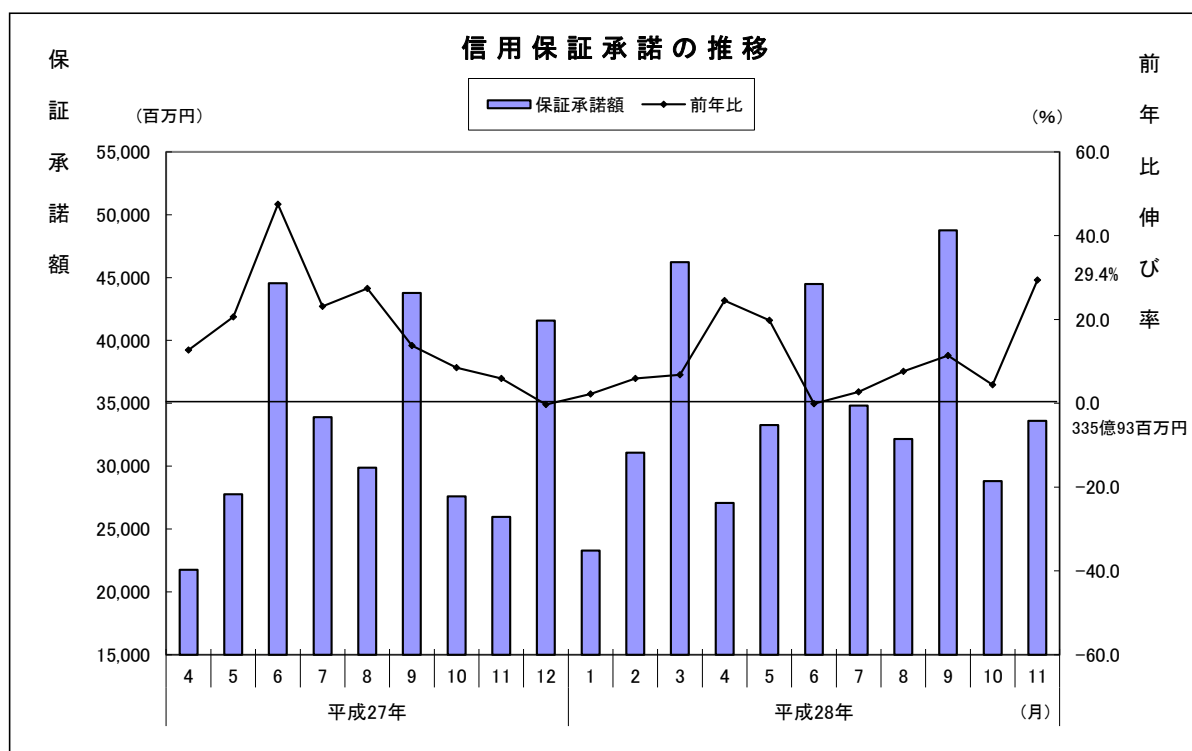
兵庫県信用保証協会による11月の保証承諾実績は、件数で1,975件(前年同月比9.9%増)、金額は335億93百万円(同29.4%増)となり、前年同月実績と比べ、件数、金額ともに上回った。

資金使途別では、運転資金30,860百万円(前年同月比32.6%増)、設備資金983百万円(同24.7%減)となり、前年同月と比べ、運転資金は上回り、設備資金は下回った。

業種別(金額ベース)では、「製造業」6,248百万円(前年同月比46.8%増)、「小売業」4,694百万円(同37.1%増)、「卸売業」5,917百万円(同34.8%増)、「飲食店」1,162百万円(同29.7%増)、「サービス業」4,602百万円(同29.4%増)、「建設業」7,554百万円(同21.8%増)、「運送・倉庫業」1,539百万円(同17.8%増)で前年同月を上回り、「不動産業」1,159百万円(同20.2%減)で前年同月を下回った。

11月末の保証債務残高は、92,547件(前年同月比3.7%減)、1兆763億87百万円(同0.3%減)となった。

一方、同月の代位弁済は、111件(前年同月比29.3%減)、12億80百万円(同17.7%減)となった。



【金融】

11月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

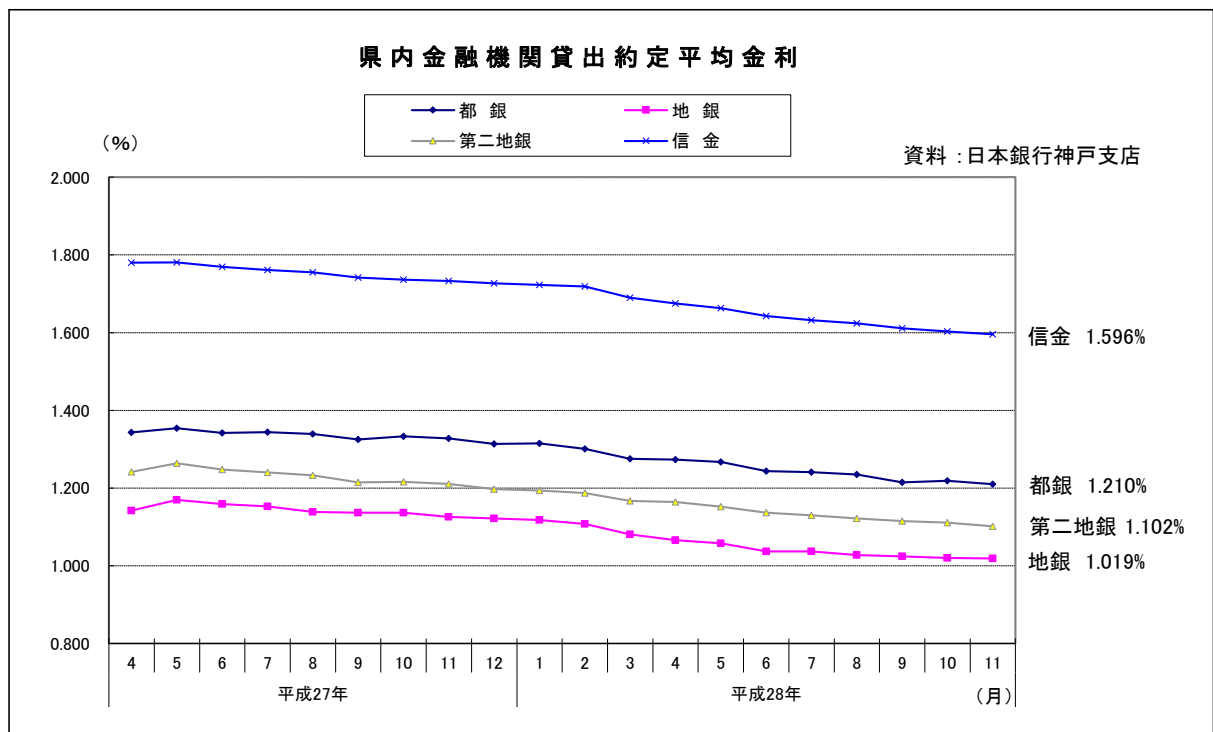
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	158,422	3.3	52,880	▲ 1.0
地 方 銀 行	27,193	2.1	25,700	7.1
第 二 地 方 銀 行	34,053	0.8	22,664	2.4
信 用 金 庫	84,698	1.5	39,239	2.4
そ の 他	17,698	1.4	17,406	0.1
計	322,064	2.3	157,889	1.7

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

11月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比2.3%増)

11月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比1.7%増)

11月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(水準1.295%、前月比▲0.007%ポイント)。



【倒産】

県内12月の企業倒産件数（負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店）は38件で前月比9件（31.03%）の増加、前年同月比4件（11.76%）の増加となり、負債総額は27億54百万円で前月比63億2百万円（69.58%）の減少、前年同月比15億56百万円（36.10%）の減少となった。

原因別（件数）では、「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が32件（全体の84.2%）であった。

業種別（件数）では、「建設業」が12件（前年同月比5件増加）でトップであった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満の倒産が25件発生し、全体の65.7%を占めた。

50億円以上の大型倒産が発生した11月は負債総額を大きく押し上げたが、一転して12月は5億円以上の倒産はなく、倒産件数自体は前月比で増加したが、負債総額は前月比では大幅に減少、当月も全般的に「小規模倒産」が多い状況であった。

最近の株式並びに為替相場は、先行きへの期待感が先行する状況下、年初からの国内株式市場も好調な出足となっている。原油減産合意がプラスと捉えられている一方、原材料関連価格の値上げへの警戒感など一長一短が見られるなか、「売り手市場」に伴う人材不足気味からくる人材費上昇、節約志向を背景とした消費低迷などから、依然として中小・零細企業ほど取り巻く環境に厳しさが続いている。これら並びにこれまでの傾向などを踏まえると、倒産が急増加する可能性は低いと考えられるものの、一方で裾野での景況感は決して楽観視できる状況ではなく、今しばらくは小規模な倒産が続くと見られる。

12月の原因別・業種別の倒産件数（負債総額1,000万円以上）

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	1	1	0	2	▲1	建設業	12	3	9	7	5
過小資本	5	1	4	2	3	製造業	5	4	1	4	1
連鎖倒産	0	2	▲2	1	▲1	卸売業	6	4	2	5	1
赤字累積	7	3	4	3	4	小売業	7	3	4	7	0
販売不振	25	20	5	25	0	情報通信業	0	1	▲1	0	0
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	6	8	▲2	9	▲3
その他	0	2	▲2	1	▲1	不動産・運輸業他	2	6	▲4	2	0
合計	38	29	9	34	4	合計	38	29	9	34	4

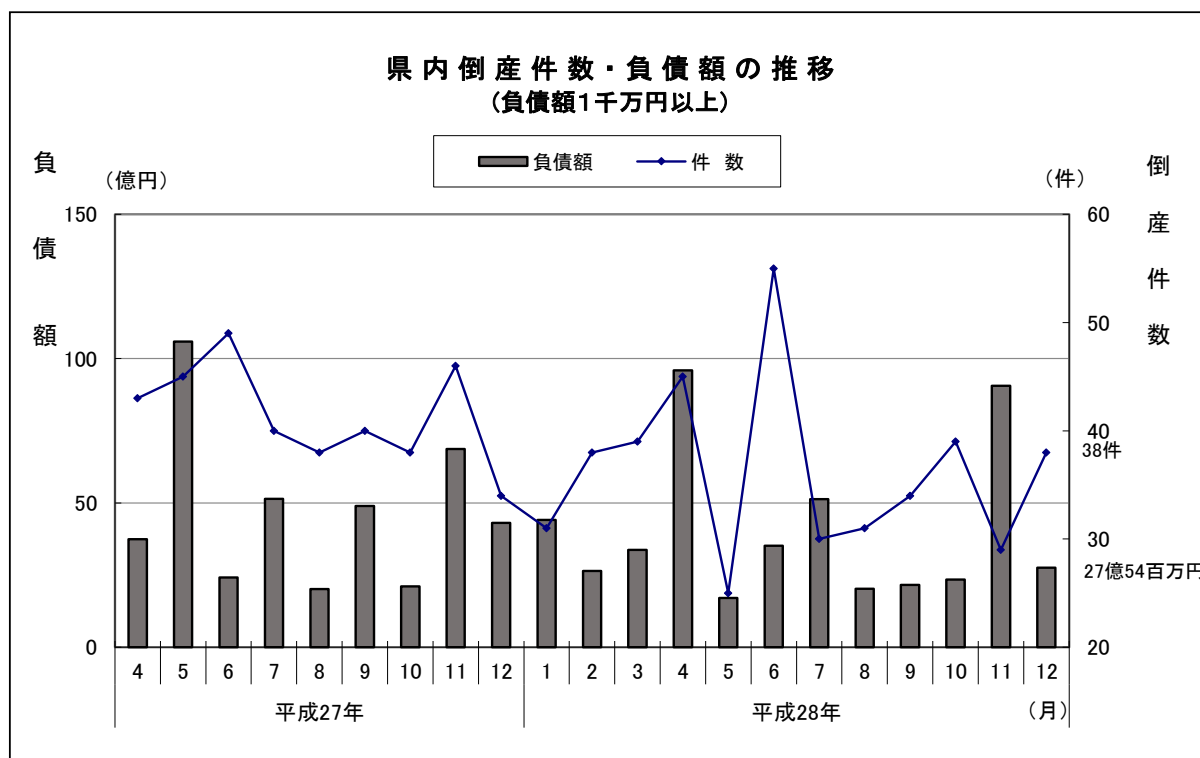
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳（負債総額 1,000 万円以上）

（単位：件数）

年月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1	0.9
24年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 平均	44.7	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26年 平均	43.1	15.3	12.1	6.8	4.8	1.5	0.4	1.4
27年 平均	41.6	15.1	11.9	6.6	4.9	1.0	0.4	1.5
28年 1月	31	11	9	5	5	0	0	1
28年 2月	38	14	11	5	6	0	1	1
28年 3月	39	10	17	6	4	0	1	1
28年 4月	45	17	14	7	6	1	0	0
28年 5月	25	10	8	1	3	2	0	1
28年 6月	55	18	18	8	7	3	1	0
28年 7月	30	13	11	5	1	0	0	0
28年 8月	31	11	12	2	4	1	0	1
28年 9月	34	12	11	3	7	0	1	0
28年 10月	39	17	10	4	8	0	0	0
28年 11月	29	6	11	4	4	1	2	1
28年 12月	38	15	12	4	4	2	0	1

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (22年=100)		全国 (22年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比 (%)	指数	前月比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	戸数 (戸)	前年比 (%)	前年比 (%)
27年 1月	107.8	7.6	102.4	3.7	185	17.8	0.9	1,830	-26.9	-13.0
2月	103.0	-4.5	98.9	-3.1	171	-11.6	1.0	2,308	-17.2	-3.1
3月	110.3	6.8	98.1	-0.8	253	-4.1	-0.3	2,898	13.9	0.7
4月	99.4	-10.0	99.3	1.2	531	-4.1	4.4	2,364	-13.1	0.4
5月	101.5	1.5	97.2	-2.1	286	-13.5	-3.4	2,985	19.8	5.8
6月	95.4	-5.9	98.3	1.1	347	1.5	-2.9	3,667	25.6	16.3
7月	98.9	2.5	97.5	-0.8	324	-13.6	-4.7	2,450	18.5	7.4
8月	97.5	-2.2	96.3	-1.2	248	6.8	-4.2	3,540	-15.0	8.8
9月	96.7	-1.6	97.4	1.1	330	-8.9	-5.3	2,292	-22.3	2.6
10月	95.1	-2.0	98.8	1.4	327	-4.9	-5.2	2,713	-13.7	-2.5
11月	98.9	4.0	97.9	-0.9	239	17.2	-4.6	3,191	-2.3	1.7
12月	94.3	-5.3	96.2	-1.7	293	21.7	-4.9	2,458	-11.1	-1.3
28年 1月	97.7	3.6	99.8	3.7	120	-35.1	-4.8	3,110	6.9	0.2
2月	101.7	3.6	93.2	-5.2	348	103.5	-4.7	2,158	-30.6	7.8
3月	99.5	-2.1	96.7	3.8	247	-2.0	-2.1	3,053	41.5	8.4
4月	100.2	0.5	97.2	0.5	655	23.3	10.6	3,019	27.7	9.0
5月	96.3	-4.7	94.7	-2.6	283	-1.2	1.4	2,218	-25.7	9.8
6月	101.3	5.2	96.9	2.3	451	29.9	-1.8	2,885	-21.3	-2.5
7月	96.6	-4.6	96.5	-0.4	288	-11.0	-6.9	3,032	23.8	8.9
8月	97.9	2.6	97.8	1.3	323	30.1	12.0	2,828	-20.1	2.5
9月	104.5	6.7	98.4	0.6	395	19.6	18.1	3,237	41.2	10.0
10月	97.2	-6.9	98.4	0.0	341	4.2	-10.0	2,810	3.6	13.7
11月	96.1	-0.9	99.9	1.5	414	-10.2	-4.0	3,004	-5.9	6.7
12月					424	-20.7	-1.3			
29年 1月										
2月										
3月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数 (台)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)
27年 1月	14,292	-16.2	-20.7	172	-3.6	-0.4	4,304	21.4	2,934	-1.7
2月	17,426	-13.2	-15.8	139	-1.3	-17.7	4,145	-6.7	2,744	30.1
3月	21,773	-15.4	-11.9	171	-21.3	-17.7	5,185	6.9	2,658	0.6
4月	10,209	-4.9	-10.1	145	11.6	13.7	4,939	8.2	2,816	8.1
5月	11,397	-0.6	-8.2	153	5.7	6.3	4,376	1.0	2,560	-1.7
6月	14,318	-0.1	-3.8	149	-2.8	0.4	4,652	2.9	2,799	9.9
7月	13,853	-7.4	-9.1	177	3.5	0.4	4,928	6.9	2,873	8.0
8月	10,798	-0.5	-3.5	143	4.1	2.7	4,332	-3.7	2,627	6.8
9月	15,892	-9.8	-7.4	140	2.9	1.9	4,517	0.9	2,672	0.2
10月	12,686	-1.1	-4.0	155	2.9	4.2	4,843	-3.9	2,752	-2.7
11月	12,871	-3.6	-7.6	164	-4.4	-2.6	4,295	-5.7	2,625	-0.5
12月	12,131	-16.7	-14.6	233	-1.3	0.3	4,991	-8.0	2,586	-3.0
28年 1月	13,623	-4.7	-4.4	167	-2.9	-1.5	3,677	-14.6	2,688	-9.2
2月	15,837	-9.1	-7.5	138	-1.0	0.5	4,326	4.4	2,383	-13.2
3月	20,638	-5.2	-9.3	161	-5.9	-2.8	4,863	-6.2	2,551	-4.2
4月	11,125	9.0	2.2	141	-2.4	-3.6	4,466	-9.6	2,362	-16.1
5月	11,207	-1.7	-1.4	147	-3.7	-4.8	3,697	-15.5	2,410	-6.0
6月	13,684	-4.4	-5.6	144	-3.2	-3.6	4,484	-3.6	2,382	-14.9
7月	13,775	-0.6	-2.2	177	0.0	-0.2	4,203	-14.6	2,278	-20.7
8月	10,542	-2.4	2.9	134	-6.3	-3.6	3,918	-9.6	2,322	-11.6
9月	15,540	-2.2	-0.7	131	-6.7	-3.2	4,165	-7.8	2,332	-12.8
10月	12,801	0.9	-0.2	149	-3.7	-1.0	4,098	-15.4	2,208	-19.7
11月	13,901	8.0	8.8	156	-5.1	-0.3	4,262	-0.8	2,572	-2.0
12月	13,667	12.7	8.1	229	-1.6		4,926	-1.3	2,495	-3.6
29年 1月										
2月										
3月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (H28.7より27年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 (%)	指数 (22年=100)	前年比 (%)	神戸市		全国	
							指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)
27年 1月	0.95	1.14	1,032	-0.2	96.8	-0.1	102.3	2.3	103.3	2.4
2月	0.94	1.15	1,040	0.0	96.0	-0.9	102.4	-0.1	103.1	2.4
3月	0.95	1.15	1,032	-0.7	96.9	0.4	102.9	2.0	103.3	2.3
4月	0.96	1.17	1,053	0.4	98.4	0.0	103.2	0.6	103.7	0.6
5月	0.97	1.19	1,055	0.5	96.4	-1.3	103.8	0.9	104.0	0.5
6月	0.96	1.19	1,045	0.5	97.6	-0.5	103.5	0.7	103.8	0.4
7月	0.98	1.21	1,055	0.6	97.4	0.3	103.2	0.2	103.7	0.2
8月	1.00	1.23	1,052	0.4	97.5	-0.1	103.8	0.6	103.9	0.2
9月	1.02	1.24	1,052	0.7	97.7	1.3	103.7	0.2	103.9	0.0
10月	1.03	1.24	1,024	0.9	97.6	0.3	103.8	0.7	103.9	0.3
11月	1.05	1.25	1,057	0.8	97.9	0.8	103.5	-0.3	103.5	0.3
12月	1.06	1.27	1,057	1.1	97.9	0.7	103.4	-0.1	103.0	0.0
28年 1月	1.05	1.28	1,052	1.0	97.2	0.4	103.0	-0.5	103.2	0.3
2月	1.06	1.28	1,048	0.8	97.8	1.9	103.2	0.8	103.2	0.3
3月	1.08	1.30	1,042	1.0	99.4	2.6	103.2	0.4	103.3	-0.1
4月	1.12	1.34	1,059	0.5	99.4	1.0	103.3	0.1	103.4	-0.3
5月	1.14	1.36	1,061	0.5	98.5	2.2	103.6	-0.2	103.6	-0.4
6月	1.15	1.37	1,063	0.8	98.2	0.6	103.2	-0.2	103.3	-0.4
7月	1.16	1.37	1,060	0.5	98.9	1.5	103.2	0.0	99.6	-0.4
8月	1.15	1.37	1,057	0.5	98.4	1.5	100.1	-0.1	99.7	-0.5
9月	1.14	1.38	1,055	0.3	98.9	1.2	100.1	-0.2	99.8	-0.5
10月	1.17	1.40	1,053	0.0	98.6	1.0	100.7	0.2	100.4	0.1
11月	1.18	1.41	1,053	-0.4	99.9	2.0	100.6	-0.1	100.4	0.5
12月							100.4	0.2		
29年 1月										
2月										
3月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末) (億円)	前年比 (%)		全国銀行 (年%)	倒産 件数 (件)	負債 総額 (億円)	地域別倒産件数	
	指数	前年比 (%)			神戸 (件)				阪神 (件)	播磨他 (件)
27年 1月	103.3	0.3	154,351	1.3	1.179	33	33	14	10	9
2月	103.3	0.5	154,880	1.7	1.173	40	42	12	15	13
3月	103.5	0.7	158,666	2.1	1.158	53	65	14	23	16
4月	103.6	-2.1	155,375	2.0	1.157	43	37	15	13	15
5月	103.9	-2.1	154,428	0.7	1.153	45	105	16	11	18
6月	103.6	-2.4	154,717	1.3	1.141	49	24	21	16	12
7月	103.4	-3.0	154,763	1.5	1.137	40	51	17	7	16
8月	102.7	-3.6	154,623	1.1	1.135	38	20	18	7	13
9月	102.2	-3.9	156,038	1.5	1.125	40	48	14	12	14
10月	101.5	-3.8	155,425	1.5	1.125	38	21	15	10	13
11月	101.4	-3.6	155,242	1.2	1.121	46	68	22	9	15
12月	101.1	-3.4	156,968	1.3	1.110	34	43	13	9	21
28年 1月	100.1	-3.1	156,038	1.1	1.108	31	44	11	9	11
2月	99.8	-3.4	155,727	0.5	1.098	38	26	14	11	13
3月	99.6	-3.8	161,190	1.6	1.076	39	33	10	17	12
4月	99.3	-4.2	156,431	0.7	1.066	45	95	17	14	14
5月	99.4	-4.2	155,843	0.9	1.054	25	17	10	8	7
6月	99.2	-4.2	156,758	1.3	1.039	55	35	18	18	19
7月	99.2	-3.9	157,441	1.7	1.033	30	51	13	11	6
8月	98.9	-3.6	156,920	1.5	1.026	31	20	11	12	8
9月	98.8	-3.2	158,317	1.5	1.016	34	21	12	11	11
10月	98.7	-2.7	157,271	1.2	1.014	39	23	17	10	12
11月	99.1	-2.2	157,889	1.7	1.009	29	90	6	11	12
12月	99.7	-1.2				38	27	15	12	11
29年 1月										
2月										
3月										
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

* p は速報値 r は確報値